



### イエメン・チャレンジ

少女や女性のニーズを特に強調しながら、“人間開発プログラムのためのスポーツおよび体育の価値のより良き理解”に向けて、国連が宣言した「2005 スポーツと体育の国際年」の目的を理解し支援すること。

第3回アジア女性スポーツ会議に27の国や地域から参加した代表者は以下の点を重視した：

1. アジアにおける女性スポーツの促進と発展のために、AWGは協力の精神でプロジェクト、会議、ワークショップなどをアジアオリンピック評議会と共同でおこなっていくこと
2. AWGはアジアにおける女性とスポーツの現状に関する情報を収集し、2006年5月11日-14日に日本の熊本で開催される世界女性スポーツ会議で評価（調査）報告を提出すること
3. 女性とスポーツの促進・発展に向けてあらゆるスポーツ組織が政府・非政府組織と戦略的な連携や協力を積極的に求めていくこと
4. 2005年12月までにすべてのスポーツ組織は、あらゆるレベルの意思決定組織で女性の代表者を20%（IOCの目標値）超とすること
5. 2006年のドーハアジア大会までにすべてのアジアの政府およびNOCは女性スポーツ政策を組織化し、そこに障害のある女性に関する特別な章を入れること
6. あらゆる政府・スポーツ組織は、津波、その他の自然災害、および戦争によって被害を受けた国や人々の再建のプロセスにスポーツと体育の主導性を確実なものにすること
7. あらゆる政府・スポーツ組織は2003年ドーハアジア女性スポーツ会議の決議案を再度確認し積極的に実行を継続していくこと

すべての代表者は、イエメン大統領 H.E. Ali Abdallah Saleh 氏、イエメン政府、イエメン NOC、そして特にイエメン女性スポーツ団体に対して、第3回アジア女性スポーツ会議を主催し、また、めざましい成功を遂げたことを祝福して感謝した。